



視察報告

立憲・国民・無所属の会さいたま市議団は、さいたま市への政策提言を行うため、
政務活動費を使用した視察を適宜行なっています。
視察を通じ、どんな知見が得られ、
それをさいたま市にどのように反映していくかについて市民の皆様への説明責任を果たすべく、
本ホームページ上で視察報告を公表します。
「会派合流・会派名変更前のデータも公表しています。」

2009/08/04

【民主党 さいたま市議団】 横浜クリエイティブシティ視察報告

横浜クリエイティブシティ視察報告

<視察先>

横浜市会・横浜市内クリエイティブシティ関連施設・開港150周年事業

<日 程>

2009年7月16日（木）

<参加者>

高木真理・細川邦子・土井裕之・熊谷裕人・池田麻里・丹羽宝宏・田口初枝

<目 的>

昨年、会派・予算委員会にて埼玉大学後藤和子教授より提言いただいたクリエイティブシティの考え方を本市のまちづくりに生かすため、先進市である横浜市の取り組みについて調査を行う。

<視 察>

横浜市会にて、クリエイティブシティを担当する松村氏（開港150周年・創造都市事業本部創造都市推進課長）・森氏（同係長）よりお話を伺った後、下記のクリエイティブシティ関連施設を視察した。

BANK Art 1929・旧富士銀行＝現東京芸術大学大学院・北仲・本町シゴカイビル・万国橋SOKO・BANK Art 1929 NYK・象の鼻・開港150周年事業ヒルサイドエリア

<感 想>

- ・クリエイティブシティの取り組みは、その発想が街づくりや市政の考え方に様々な影響を与えると感じた。
- ・中田市長の一声で始まった政策で、市長の思い入れが事業の進捗を牽引した要素が大きい。また、3年を時限とする事業本部制の中で市長直轄組織の中で取り組まれたのも推進力となった（2期継続。次期は未定。）
- ・横浜市の場合は、街づくりについて「都市デザイン室」が古くから設置されているなど、長期的視野に立った民間との共同による手法が蓄積されている。また、一つの事業を行うにあたって、市民との協働を様々な局面で実施してきており、そのノウハウが官民ともに体に馴染んでおり、クリエイティブシティの取り組みの土壌となったことがよくわかった。逆に、クリエイティブシティの取り組みは、これから取り組む都市にとっても、景観に配慮した街づくりや、市民との協働を進める要素があることがわかった。
- ・開港150周年記念事業は事業本部こそ同じだが、クリエイティブシティとしての直接の取り組みではないが、ヒルサイドエリアの事業においては、その中から協働できる市民を発掘することにつながる事業として展開している。様々な仕掛けが有機的に連動している。
- ・議会や市民からの反応としては、都心部のみならず郊外部にも展開してほしい・まだ取り組みを知らない市民も多いなどが課題として上がるとのこと。確かに事前に資料で調べた段階では、横浜の取り組みはとても大規模なものに感じられたが、広大な都市にあって大海の一滴ともなりかねないことから、全市民的な浸透が難しいこともわかった。